

第 30 回 かんきょうアイデア展 入賞作品 (敬称略)

- ★ **区長賞** 「町のゴミ拾いをしてわかったこと
～どこにどんなゴミが落ちていて人はなぜ町にゴミを捨てるのか?～」
レポート部門 廣瀬 心美 (桃井第二小学校 4 年生)
- ★ **教育長賞** 「たまごのからで絵の具を作る」
アップサイクル・リサイクル作品部門 平増 月姫 (八成小学校 3 年生)
- ★ **理事長賞** 「近所の公園のマイクロプラスチック調べ」
レポート部門 窪田 瑛心 (松庵小学校 2 年生)
- ★ **レポート部門個人賞** 「香川の海で調べた!! 海洋プラスチック問題 SDGs 1 4」
大國 暁 (井荻小学校 4 年生)
- ★ **アップサイクル・リサイクル作品部門個人賞** 「シャツ 10 枚分の服マット」
千葉 那由多 (阿佐ヶ谷中学校 1 年生)
- ★ **アップサイクル・リサイクル作品部門団体賞 阿佐ヶ谷中学校 1 年生**
「G パンテーブルカバーから作ったウォールポケット」 影林 昂
「捨てられずにいたお気に入りのトレーナーから作ったバッグ」 森田 夏帆
「シャツ 10 枚分の服マット」 千葉 那由多
「古い布を重ねた鍋敷」 山岸 果未
「シーパンはぎれから作ったベビースタイ」 近藤 咲
「僕が小さい頃に着た服から作った巾着袋」 細野 耕生
- ★ **アップサイクル・リサイクル作品部門団体賞 東原中学校 1 年生**
「着られなくなったトレーナーから作ったクッション」 徳植 真仁
「着なくなったパーカーから作った上履き袋」 平野 花凜
「サイズアウトしたデニムスカートから作ったペンケース」 神林 知亜
「記念のユニフォームから作ったまくらカバー」 神保 圭汰
「祖母の着物から作ったスリムペンケース」 大辻 愛莉
「着られなくなった洋服から作ったバッグ」 名桐 文之輔

※ 各賞の写真は 2、3 面をご参照ください。

・・・かんきょうアイデア展 選考委員会から・・・

◆区長賞の「町のゴミ拾いをしてわかったこと」

昨年からお母さんと始めた町のゴミ拾い。なぜ町にゴミを捨てるのか疑問を抱き、荻窪駅周辺(南口)と商店街、住宅街のゴミの特徴を詳しく調べましたね。調査結果を分析して町のゴミを無くす対策をまとめました。実践を伴った丁寧なレポートが高く評価されました。

◆教育長賞の「たまごのからで絵の具を作る」

卵の殻を片栗粉程に細かく砕くのはさぞ苦労だったでしょう。膠(にかわ)と色素を加えてできた絵具でアサガオの絵が描けましたね。要らなくなったものを有効利用して価値あるものを作る根気強い見事なアップサイクルが評価されました。

◆理事長賞の「近所の公園のマイクロプラスチック調べ」

マイクロプラスチックの危険を知って、近所の 4 箇所の公園の砂場とお台場海浜公園でふるいを使って調査。特別企画の食べる魚をさばいて胃の中まで調べ、楽しんでこつこつ課題に向かう姿勢に共感が集まりました。

◆今年は中学生の服のアップサイクル作品に団体賞をという声が上がりました。廃棄される服をどう生かすか、工夫して新しいものを生み出す楽しさを提案してくれています。



NPO法人
すぎなみ環境ネットワークだより

ホームページ URL
<http://www.ecosuginet.jp/>

すぎなみ環境ネットワーク 検索



発行元：NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク 〒168-0072 杉並区高井戸東 3-7-4 杉並区立環境活動推進センター内 4 階
Tel：5941-8701・Fax：3331-5212 営業時間：午前 9 時～午後 5 時
環境活動推進センター Tel：5336-7352 午前 9 時～午後 5 時
リサイクルひろば高井戸 Tel：3331-4360 【1 階】午前 9 時～午後 5 時 【2 階 エコマーケット】午前 10 時～午後 3 時

全館 休館日
水曜日
・
年末年始

第 30 回



☆アップサイクル・リサイクル作品部門☆

使わなくなったものを利用し、よみがえらせた作品の展示。ゴミだと思っていたものが、アイデアとセンスで生まれ変わります。

【各部門の内容】

☆レポート部門☆

今話題の「脱炭素」「海洋ゴミ」「食品ロス」や、環境について調べたこと、環境を守るための活動や、SDGs の研究などの発表。

☆自然の恵み部門☆

雨水利用・太陽光発電・緑のカーテンなど、自然の恵みを活かした取り組みの写真や文章による発表。

「かんきょうアイデア展」は 30 回目を迎えました。資源を有効利用した手作り作品や環境、自然に関するレポートを通して、生活環境や広く地球環境について考えることを目的に開催しています。会場の杉並区立環境活動推進センターに全応募作品を展示しました。

「アップサイクル・リサイクル作品」「レポート」「自然の恵み」の 3 部門で、応募作品数は 51 点、44 名の応募者の中から、16 名の方が受賞されました。

◆作品展示：10 月 4 日(金)～10 月 14 日(月・祝)

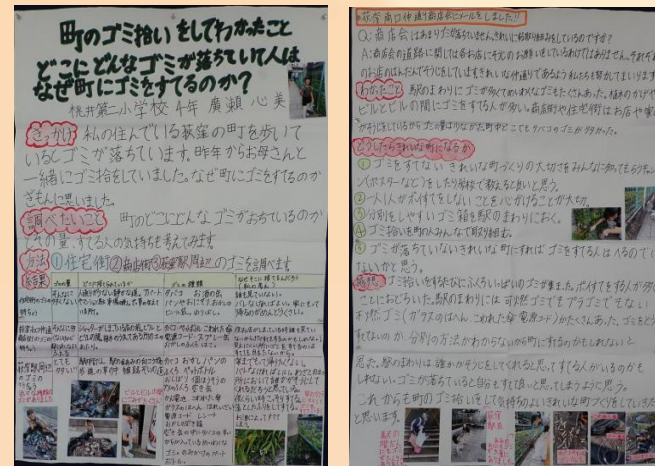
◆表彰式：10 月 14 日



企画運営：NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク

入賞作品

区長賞



「町のゴミ拾いをしてわかったこと
～どこにどんなゴミが落ちていて人はなぜ町に
ゴミを捨てるのか?～」 廣瀬 心美

教育長賞

「たまごのからで絵の具を作る」
平増 月姫



理事長賞

「近所の公園の
マイクロプラスチック調べ」
窪田 瑛心



★レポート部門個人賞

「香川の海で調べた!! 海洋プラスチック問題 SDGs 14」
大國 暁

★アップサイクル・リサイクル作品部門個人賞

「シャツ 10 枚分の服マット」
千葉 那由多



★アップサイクル・リサイクル作品部門団体賞

「G パンテーブルカバーから作ったウォールポケット」
「捨てられずにいたお気に入りのトレーナーから作ったバッグ」
「シャツ 10 枚分の服マット」
「古い布を重ねた鍋敷」
「ジーパンはぎれから作ったベビースタイ」
「僕が小さい頃に着た服から作った巾着袋」

影林 昂
森田 夏帆
千葉 那由多
山岸 果未
近藤 咲
細野 耕生



★アップサイクル・リサイクル作品部門団体賞

「着られなくなったトレーナーから作ったクッション」
「着なくなったパーカーから作った上履き袋」
「サイズアウトしたデニムスカートから作ったペンケース」
「記念のユニフォームから作ったまくらカバー」
「祖母の着物から作ったスリムペンケース」
「着られなくなった洋服から作ったバッグ」

徳植 真仁
平野 花凜
神林 知亜
神保 圭汰
大辻 愛莉
名桐 文之輔

アンケート結果

＊小規模ながら、はっとする作品があって楽しい。もっと知られればいいのと思います。
＊皆が環境のことを考える良いきっかけになっていると思います。日々の 1 つ 1 つの積み重ねが SDGs につながっていくと思いました。知ることの大切さを実感します。
＊捨てられてしまう物が、このように再利用する事で、素敵な作品になり、また使う事が出来るという事を改めて考える事が出来ました。皆さんのアイデアがすごいと思いました。

＊海洋ゴミについてみんな知っている…のに対応が伴わない。大人の責任だと思います。
＊子どもたちが身近な住宅地でゴミを見つけて関心を持ち、町をきれいにしたいと思ったことはうれしい事実で、頼もしいと思いました。
＊小中学生が環境問題に関心をもって、身近なところで実践していることに感心しました。
＊生活の中の役立つ物に目を向けて、世の中の役立つ事を一生懸命考える子どもたちに感心して、私も生活の中に何かないか発見していきたいと思います。